

カセットコーダー

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

TCM-36

Sony Corporation © 1998 Printed in China

T02-1001A-1

カセットコーダー
TCM-36

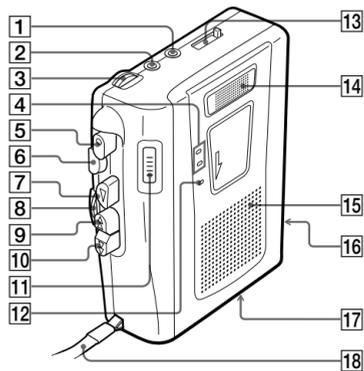
ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- カセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。

主な特長

- 2段階ランプで知らせる録音 / 電池残量ランプと電池を交換するときを知らせる電池交換お知らせランプ。
- テープの再生スピードを約 +30 ~ -15% の範囲で速めたり遅めたりできる、再生スピード調節機能(スピードコントロール)。
- 再生・録音時にテープが最後まで行くと、押し込まれていた操作ボタンが自動的に戻る、オートシャットオフ機能。
- 停止ボタンを押すと一時停止も解除される、ストップポーズリリース機能。解除を忘れて録音チャンスを逃してしまう失敗がありません。
- 発言者の声を明瞭にとらえるBoundary effect^{パワングリリー}收音方式^{エフェクト}、フラットマイク内蔵。

各部のなまえ



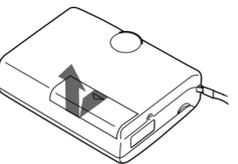
- イヤホンジャック
- マイク(プラグインパワー)ジャック
- 音量つまみ
- 電池/録音ランプ
- 録音ボタン
- 停止ボタン
- ▶再生ボタン
- スピードコントロールつまみ
- ◀◀巻戻し/レビューボタン
- ▶▶早送り/キューボタン
- 一時停止▶つまみ
- ⌂ (電池交換お知らせ)ランプ
- テープカウンター
- フラットマイク
- スピーカー
- 電池入れ
- DC IN 3Vジャック
- ハンドストラップ

乾電池を入れる

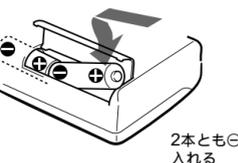
ここでは乾電池での使いかたを説明します。コンセントでの使いかたは、「電源について」をご覧ください。

1 付属の乾電池を入れる

- ①押しながら矢印の方向へずらし、持ち上げる



- ②単3形乾電池2本を入れる

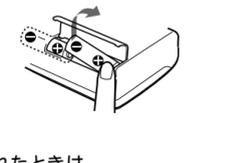


2本とも⊖側を奥に入れて

ご注意

新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

乾電池を取り出すときは



電池入れのふたがはずれたときは

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は図のように取り付けてください。



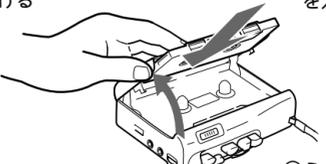
録音する

内蔵マイクですぐに録音できます。

録音にはノーマルテープ(TYPE I)をお使いください。クローム(TYPE II)、メタル(TYPE IV)では正しく録音できないことがあります。

1 カセットを入れる

- ①手でふたを開ける

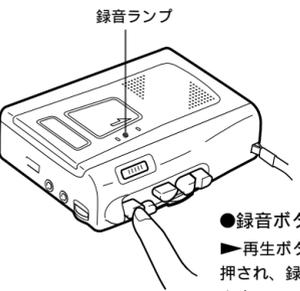


- ②録音を始める面をふた側にしてカセットを入れる

- ③ふたを閉める

2 録音する

発言者の声をフラットマイクで明瞭に録音するために、机の上などの固い面に水平に置いてください。



- 録音ボタンを押す
- ▶再生ボタンが同時に押され、録音が始まります。

録音中は、音の強弱に合わせて録音ランプの明るさが変わります。

操作	押すボタン、ずらすつまみ
録音を止める	停止
一時停止する	一時停止▶
	一時停止を解除するには、一時停止▶つまみを元に戻す*
カセットを取り出す	■停止ボタンを押してから手でふたを開ける

*一時停止は■停止ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップポーズリリース機能)。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

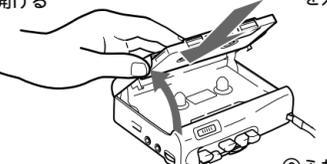
テープを聞く

内蔵スピーカーから音が聞こえます。

ノーマルテープ(TYPE I)をお使いください。

1 カセットを入れる

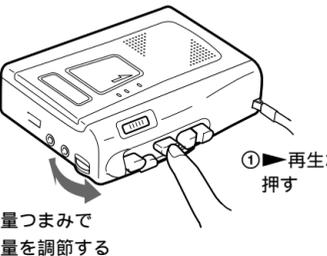
- ①手でふたを開ける



- ②再生を始める面をふた側にしてカセットを入れる

- ③ふたを閉める

2 再生する



- ①▶再生ボタンを押す

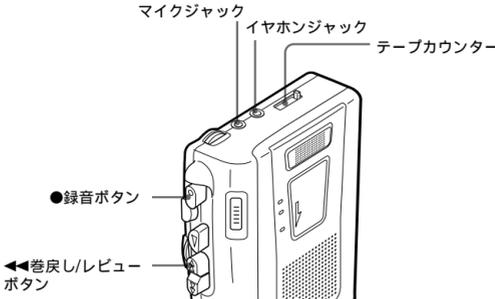
- ②音量つまみで音量を調節する

操作	押すボタン、ずらすつまみ
テープを止める	停止
一時停止する	一時停止▶
	一時停止を解除するには、一時停止▶を元に戻す*
早送りする**	▶▶早送り/キュー
巻き戻す**	◀◀巻戻し/レビュー
音を聞きながら早送りする(キュー)	再生中に▶▶早送り/キューを押し続ける
音を聞きながら巻き戻す(レビュー)	再生中に◀◀巻戻し/レビューを押し続ける
カセットを取り出す	■停止ボタンを押してから手でふたを開ける

*一時停止は■停止ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップポーズリリース機能)。

**早送り、巻き戻しをしてテープが巻き取られたあと、そのままにしておくと電池が急激に消耗するので必ず 停止ボタンを押してください。

録音の便利な機能を使う



テープカウンターを使う

録音を始める前に、テープカウンターのリセットボタンを押して「000」にします。録音の頭を探すのに便利です。

録音中の音を聞くには

別売りのイヤホンをイヤホンジャックにつなぎます。音量つまみで音量を調節しても、モニター音は変えられません。録音される音の大きさは一定に保たれます。

後追い録音をする

再生中に●録音ボタンを押すと、そこから録音状態になります。録音されたものの一部分を修正したいときなどに便利です。

録音したものをすぐに聞く(ワンタッチレビュー)

録音中に◀◀巻戻し/レビューボタンを押すとテープが巻き戻され、手を離すとそこから再生が始まります。

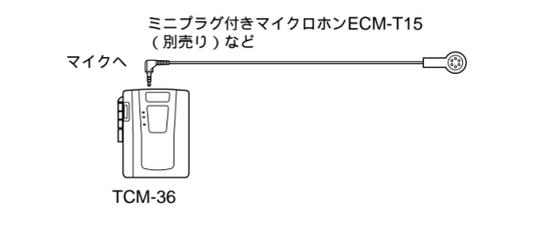
テープが終わりまできると(オートシャットオフ機能)

録音/再生状態でテープが終わりまで巻き取られると、自動的にボタンが解除されテープが止まります。

外部マイクや他の機器から録音する

ご注意	録音する前に <ul style="list-style-type: none">接続コード類のプラグはしっかり差し込んでください。 接続や音量調節の失敗を防ぐため、本番前に試し録音をしてください。 下の例はソニー製品の場合です。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。
------------	---

外部マイク（別売り）で録音する
マイクジャックにプラグをしっかりと差し込むと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。



本機にカセットを入れ、●録音ボタンを押します。



- 本機にカセットを入れます。
- 録音する音を出し、聞きやすい音量にします。（テレビやラジオのREC OUTやジャックなどから録音するときは、音量を変えても録音には影響しません。）
- 録音ボタンを押します。

再生の便利な機能を使う

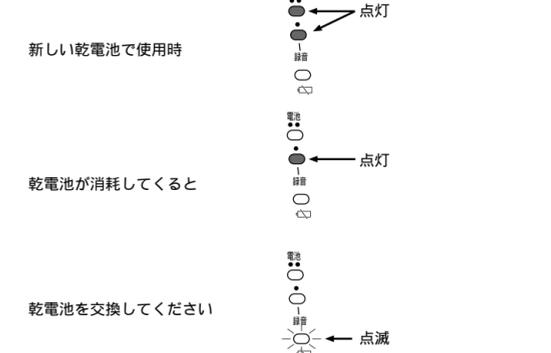


再生速度	つまみの位置
ゆっくり再生する	遅い
通常の速度で再生する	中央（白い線のところ）
速く再生する	速い

ご注意	録音中はスピードコントロール機能は使えません。
------------	-------------------------

電源について

乾電池を交換する時期
乾電池の残量は録音 / 電池残量ランプでお知らせします。電池が消耗すると、テープ走行が不安定になったり雑音が多くなったりします。電池交換ランプが点滅したら、乾電池は2本とも新しいものと交換してください。



ご注意	新しい乾電池で使用時
------------	------------

- 早送り（キュー） / 巻き戻し（レビュー）中に電池交換ランプが点滅することがあります。テープが正常に動かないときのみ、電池を交換してください。
- 再生中に音量を上げたときなどに録音 / 電池残量ランプが音に応じてちらつくことがあります。乾電池を交換する必要はありません。
- 電池交換ランプが点滅し始めても、しばらくはテープが正常に動きますが、内蔵スピーカーから大きな雑音が出たり正しく録音されていないことがありますので、必ず乾電池を交換してください。
- テープの動きはじめやテープの終わりで電池交換ランプが瞬間的に点滅することがあります。ランプがすぐに消えた場合は、乾電池を交換する必要はありません。

乾電池の持続時間	(EIAJ)*	
使用電池	録音時	再生時
ニールアルカリ乾電池LR6(SG)使用時	約11時間	約11時間
ソニーマンガン乾電池R6P(SR)使用時	約3時間	約3時間

* EIAJ（日本電子機械工業会）規格による測定値です。（ソニーHFシリーズカセットテープ使用、音量7分目程度でミュージックテープをスピーカーで再生した場合。）

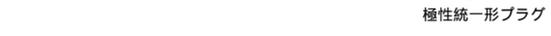
乾電池は持続時間の長いアルカリ乾電池をおすすめします。

ご注意	電池持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。
------------	------------------------------

コンセントにつないで使う

- ACパワーアダプターAC-E30M（別売り）を本体のDC IN 3Vジャックにつなぎます。
- ACパワーアダプターをコンセントにつなぎます。

ご注意	この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E30M（別売り）（極性統一形プラグ・EIAJ規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
------------	---



ご注意

録音について	録音には、必ずノーマルテープ（TYPE I）をお使いください。（CrO2 / メタルテープでは正しく録音されません。）
録音できない。	<ul style="list-style-type: none">カセットが入っていない カセットのツメが折れている。→録音内容を消してもよい場合は穴をふさぐ。 乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。 録音 / 再生ヘッドが汚れている。→クリーニングする。
再生できない。	<ul style="list-style-type: none">テープが終わりまで巻き取られている。 録音 / 再生ヘッドが汚れている。→クリーニングする。

操作ボタンを押しても動作しない。	<ul style="list-style-type: none">乾電池の⊕と⊖の向きが正しくない。→向きを確認して入れなおす。 乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。 一時停止つまみが矢印の方向へずらされている。 ACパワーアダプターが正しく接続されていない。 ACパワーアダプターやカーバッテリーコードを本体につないだまま、乾電池で使おうとしている。
------------------	---



スピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">イヤホンが差し込まれている。 音量が最小になっている。
再生速度が速すぎたり遅すぎたりする。	<ul style="list-style-type: none">スピードコントロールつまみが中央以外の位置にある。
音が小さい。音質がよくない。雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none">乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。 録音 / 再生ヘッドが汚れている。→クリーニングする。 カセットテープをスピーカーの上に直接置いていた。（直接置くと音質が劣化することがあります。） メタル、クロームのテープを使っている。

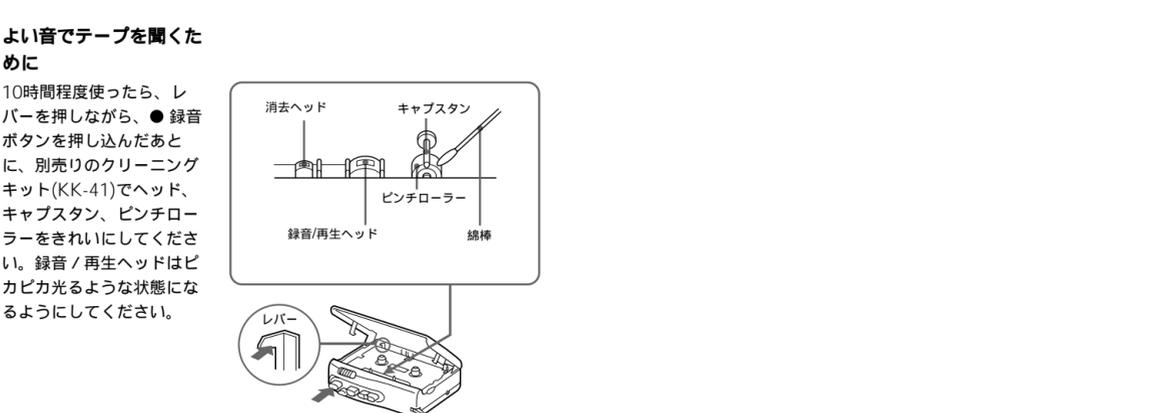
音が不安定で急に音程が狂う。	<ul style="list-style-type: none">乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。 キャプスタンやピンチローラーが汚れている。→クリーニングする。
前の音が完全には消えない。	<ul style="list-style-type: none">消去ヘッドが汚れている。→クリーニングする。 メタル、クロームのテープを使っている。

本体作動中にノイズ(カチカチ音)が入る。	<ul style="list-style-type: none">テープカウンターのリセットボタンが誤って押されている。→もう一度しっかり押して000にする。
----------------------	--

早送りや巻き戻しをして、テープが終わりまで巻き取られたあとにカチカチと音が入る。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。	
--	--

お手入れ



本体表面が汚れたときは
水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

故障かな？

修理に出す前にもう1度お調べください。	
症状	原因 / 処置
録音できない。	<ul style="list-style-type: none">カセットが入っていない カセットのツメが折れている。→録音内容を消してもよい場合は穴をふさぐ。 乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。 録音 / 再生ヘッドが汚れている。→クリーニングする。
再生できない。	<ul style="list-style-type: none">テープが終わりまで巻き取られている。 録音 / 再生ヘッドが汚れている。→クリーニングする。
操作ボタンを押しても動作しない。	<ul style="list-style-type: none">乾電池の⊕と⊖の向きが正しくない。→向きを確認して入れなおす。 乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。 一時停止つまみが矢印の方向へずらされている。 ACパワーアダプターが正しく接続されていない。 ACパワーアダプターやカーバッテリーコードを本体につないだまま、乾電池で使おうとしている。
スピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">イヤホンが差し込まれている。 音量が最小になっている。
再生速度が速すぎたり遅すぎたりする。	<ul style="list-style-type: none">スピードコントロールつまみが中央以外の位置にある。
音が小さい。音質がよくない。雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none">乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。 録音 / 再生ヘッドが汚れている。→クリーニングする。 カセットテープをスピーカーの上に直接置いていた。（直接置くと音質が劣化することがあります。） メタル、クロームのテープを使っている。
音が不安定で急に音程が狂う。	<ul style="list-style-type: none">乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。 キャプスタンやピンチローラーが汚れている。→クリーニングする。
前の音が完全には消えない。	<ul style="list-style-type: none">消去ヘッドが汚れている。→クリーニングする。 メタル、クロームのテープを使っている。
本体作動中にノイズ(カチカチ音)が入る。	<ul style="list-style-type: none">テープカウンターのリセットボタンが誤って押されている。→もう一度しっかり押して000にする。
早送りや巻き戻しをして、テープが終わりまで巻き取られたあとにカチカチと音が入る。	

主な仕様

トラック方式	コンパクトカセットモノラル
スピーカー	直径36 mm
周波数範囲（EIAJ）	TYPE I（ノーマル）カセット <p>250～6,300Hz</p> <p>マイク（ミニジャック / プラグインパワー対応）（1）</p> <p>最小入力レベル　0.2 mV</p> <p>インピーダンス3k　以下のマイク用</p> <p>イヤホン(ミニジャック / モノラル)（1）</p> <p>負荷インピーダンス　8～300　のヘッドホン用</p>
入力端子	
出力端子	
実用最大出力(DC時)	スピーカー　300 mW (EIAJ)
スピードコントロール	可変範囲 <p>約+30％～-15％</p> <p>DC 3V、単3形乾電池2本使用</p> <p>DC IN 3Vジャック（定格3V）</p> <p>別売りACパワーアダプターAC-E30Mを接続してAC100Vから使用可能。</p> <p>別売りカーバッテリーコードDCC-E230を接続して12V/24V自動車バッテリーから使用可能。</p>
最大外形寸法	約116 × 91 × 38 mm（幅/高さ/奥行き）(EIAJ)
質量	最大突起部含む <p>本体　約195 g</p> <p>ご使用時　約270 g（乾電池R6P(SR) 2本、カセットテープC-60HFを含む）</p>
付属品	ソニー乾電池R6P(SR) (2)
	取扱説明書・保証書 (1)
	ソニーご相談窓口のご案内 (1)
別売りアクセサリ	ACパワーアダプター　AC-E30M（極性統一形プラグ・EIAJ規格）
	カーバッテリーコード　DCC-E230
	エレクトレットコンデンサーマイクロホン　ECM-T15
	接続コード　RK-G64
	モノラルイヤレシーバー　MDR-E123
	クリーニングキット　KK-41
	クリーニングカセット　CHK-1W

*EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書	●所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。●保証期間はご購入上げ日より1年間です。
-----	--

アフターサービス	調子が悪いときはまずチェックをこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
----------	---

それでも具合の悪いときはサービスへお買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は	保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
-----------	--

保証期間経過後の修理は	修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
-------------	--

部品の保有期間について
当社ではカセットコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。